

家庭学習のすすめ 5・6年生

学習時間のめやす

5年 60分
6年 70分

家庭学習の手順

さあ、家庭学習を始めよう。

- ①学校からのプリントを家の人に渡す。
- ②机の上を片づける。
- ③今日の宿題を連絡帳で確かめる。
- ④鉛筆を正しく持ち、宿題をていねいに確実にする。
- ⑤自主勉強ノートに、復習や予習（次に習う所の教科書を読むなど）にも取り組む。
- ⑥明日の準備をする。
 - 鉛筆をけずる。（鉛筆5本、赤鉛筆、消しゴム）
 - 時間割をそろえる。
 - 宿題を入れる。
 - 持って行く物を確かめる。
 - ハンカチ、ティッシュ、名札も忘れずに。

よくがんばりました。 継続は力なり

5・6年の学習では

～保護者の方へ～

家庭科と外国語科が始まります。また、各教科において、基礎的な学習をもとに、それを活用したり、思考を深めたりする学習が増えます。社会科や理科は、暗記する事柄が多くなります。

ノートを書くことにおいては、ある程度の速さが必要となります。また、気付きや大切なこと等を進んで書けるようになると、理解が深まります。

内容・方法

国語

【音読】

はっきりと声に出して教科書を読みましょう。繰り返して読むことが大切です。情景を思いうかべ、気持ちを込めて読みましょう。

【漢字】

学校の漢字ドリルを活用して繰り返していねいに練習しましょう。漢字のページを写すだけでなく、よみがなのページを利用して、漢字を書くことで正しく覚えているか自分で確かめましょう。

【読書】

いろいろな種類の本を読みましょう。学校の本を借りてたくさん本を読みましょう。

算数

計算が正確に・速くできるよう集中して計算しましょう。教科書の文章問題も大切です。答えの確かめを自分でし、分からなかった部分や間違えた問題は、教科書やノートで調べたり、繰り返し練習したりしましょう。

社会

学習したことで大切なことや資料集のグラフや地図から分かることなどをノートに書きましょう。新聞を読んだり、ニュースを見たりして、ノートに要約や感想を書きましょう。

理科

復習では、授業で学習した大切な語句とその説明や、実験のやり方、分かったことなどをノートにまとめましょう。次の授業が観察や実験の時は、教科書を読み、ノートに分からないことや知りたいことをまとめてみましょう。

外国語

授業で学習した語や文などを、家の人に聞いてもらったり、書き写したりしましょう。

